



小布施

ココロ

あそび

2017 夏



天草 100%の粉末寒天

# 夏が来れば

栗の木を無数の白い花が覆いつくすと、小布施にも強烈な日差しが降りそそぐ夏がやってきます。

暑さの中でも、弊堂伝統の栗ようかんを涼やかに召し上がっていただけないだろうか…そんな思いから、小布施で

初めて「栗水ようかん」を作り出した。今から30年余も前のことです。

たのは、当時、水羊かんには一般的だったオゴノリを原料にした寒天を使わないこと。

「大切な栗の風味を妨げる雑味は、何も入れたくなかった」と創作に携わった七代目・桜井佐七。

難しいとされていた天草一〇〇%の微粉末の寒天を作り上げてくれた、誠実な寒天製造者との出会い。それが、深い栗の風味を守り、つるりとした舌触り、するんとした喉越しを支えています。

よく冷やして、冷茶と共に。信州の朝風のように涼やかなひと時をお届けします。

# 思い出す



## 栗水ようかん

缶を開けた瞬間、「栗」が香り立つ。濃厚な栗感となめらかさの妙を実感してください。





## パート・ド・ヴェールの ランプ

高さ340mm 内田邦太郎 作



【栗の木テラス】  
■営業時間  
10時～18時(LO)  
■水曜定休  
■夏が終わるまで  
飾っています。

19世紀末、ヨーロッパ各地では植物の枝や蔓を思わせる曲線が特徴のアール・ヌーヴォーというスタイルが生まれ、「パート・ド・ヴェール」というガラス工芸の技法も、その時期にフランスで生まれた。さまざまな色のガラスの粉を鋳型に詰めて焼き、型から取り出して、表面を磨いて仕上げる。

このランプは、アール・ヌーヴォー期のイギリス家具や同時期のオーストリアの巨匠ミュシャのリトグラフがある栗の木テラスに、「きっと合う」と買い求めたもの。

南国の海と、その海に揺れる紅珊瑚のような色合いは、東の間、バカンス気分へ誘ってくれる。

# 04

SAKURAIKANSEIDO 人

「対話のプロ、と申し上げてもわかりませんよねえ」と中村さんは人懐こい笑顔に向けた。

「対話とは、その対象とのつながりを取り戻すものです。例えば自然と、モノと、自分自身と」。

そういう手法で「物事の見方においての自分のクセを知り、そのクセを外し、新しい自分との出会い=Incubation(孵化)を促す」のが仕事だ。山頂アタックに欠かせないベースキャンプのように、人生のアタックを見守る場所になりたいという。

小布施は昔から内外の交流が盛んで、新しいものが生まれやすく、『個』の存在が際立ちやすい環境と感じている。現在は千葉県の自宅と国内のあちこち、世界各国を行き来し、「多拠点生活を実践中」だ。

見聞を広めた目に映る桜井甘精堂は「商品も接客もお店もすべて温かい。安心する、ほっとする場所」。中村さんの、心のベースキャンプになれたのかもしれない。

中村 一浩 [なかむら・かずひろ]

1978年 横浜市生まれ  
事業構想修士、小布施インキュベーション  
キャンプ・講師



撮影場所：古民家をリノベーションした「小栗八平衛商店（こくりはちべいしょうてん）通称：小八」。町内外の有志の交流拠点になっている。



紹介者:北齋亭・水野佳子(みずの・よしこ)  
高山村出身。2歳と5歳の子どもを連れてのおもちゃ屋さん巡りが休日の楽しみです。

## 水、風、そして緑 …ここはオアシス

小布施総合公園(通称「オアシス」)の噴水広場は、4歳の息子の大的お気に入り。歩き始めた時からですから、もう3年くらい通っています。4月末から11月末まで、井戸水が吹き上がり、子どもたちはその中をキャーキャー言いながら走り回ります。全身びしょ濡れになって、思いつき遊んだ後は、お弁当を食べ、芝生広場の木陰でお昼寝します。風が吹き抜けて、本当に気持ちがいいですよ。

ローラー滑り台やジャングルジム、ターザンロープなどもあり、お昼寝の後はそっちで遊ぶことも。息子は最近、池の鯉にエサをあげることが楽しいようです。来るたびに興味の幅が広がり、できることが増えていて、親はその成長も楽しみ。10時くらいから夕方までいても飽きないです。

休みの相談をしていると息子が「オアシス行こう」と言ってきます。夫もこの時ばかりは、よく世話をしてくれるので、私は芝生でのんびりしたり、本を読んだり…。夏の子ども連れには最高の場所ではないでしょうか。



小布施ハイウェイオアシス道の駅オアシスおぶせ  
「道の駅」と隣接しているので、食事や買い物も楽しめます



葛飾北斎の肉筆画を展示している「北齋館」の横にあります。小布施観光の中心的な場所だけに、団体のお客様が多くいらっしゃいます。

一度に沢山のお客様の対応は大変ですが、小布施の印象に関わるので、「スピーディーに、でも笑顔で!」を心がけています。お客様からのご質問に対して、聞かれた以上のことをお答えできるようになりたいです。



夏のおススメは爽やかな酸味がきいた、「胡麻だれ冷やうどん(850円)」。自家製のつゆに練り胡麻、磨き胡麻、擂ったくみを合わせ、りんご酢と栗みつを隠し味にしたオリジナルの胡麻だれは、喉越しのいい麺とよくからみ、暑さも歩き疲れも吹き飛ばしてくれます。

■営業時間/[売店]8:20~17:00[食事]9:00~16:30(L.O)  
■休/食事は木曜日、売店は無休 ■小布施駅からゆっくり歩いて15分

### 1/8 shop LIST

本店	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施774 TEL.026(247)1088	栗の木テラス	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施784 TEL.026(247)5848
泉石亭	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施779 TEL.026(247)5166	ながの東急店	〒380-8539 長野市南千歳1-1-1 ながの東急地階 TEL.026(229)9707
カフェ茶蔵	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施779 TEL.026(247)5601	MIDORI長野店 甘味屋幾右衛門	〒380-8543 長野市南千歳1-22-6 JR長野駅MIDORI長野2階 TEL.026(219)6141
北齋亭	〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施810-3 北齋館よこ TEL.026(247)5740	軽井沢店	〒389-0103 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1番地12 C号室 TEL.0267(42)9966

アクセス  
小布施への

お車で

●上信越自動車道「小布施スマート(ETC専用)I.C」から5分「信州中野IC」から7分「須坂長野東IC」から15分

電車で

●[東京駅から]北陸新幹線(約1時間45分)→長野駅  
●[新大阪駅から]東海道新幹線(約55分)→名古屋駅→特急しなの(約3時間)→長野駅  
●[金沢駅から]北陸新幹線(約1時間)→長野駅  
→[長野駅]からは[長野電鉄]特急で最短22分→小布施駅



## 栗みつ豆腐アイス

- ①絹ごし豆腐半丁と栗みつ大さじ2をビニール袋に入れ、良くもんで混ぜ合わせる。
- ②①を平らにして、2～3時間冷凍する(途中2～3回もみほぐす)。
- ③②をさらにもみほぐし、器に盛り、栗みつをたっぷりかける。



### 募集

弊社商品のお気に入りの召し上がり方を募集しております。レシピに、お名前、年齢、ご住所、連絡先を明記し、桜井甘精堂本社企画室「私のお気に入り」係、またはplanning@kanseido.co.jpまでご応募ください。採用させて頂いた方には、弊社商品詰め合わせをプレゼントいたします。

## 小布施をもっと愉しむ

2017.6月～8月

# イベント

### ●栗花市6月17日9時～15時(町内一円)

飲食などができるお得なチケット(12枚綴り1000円)を片手に、花の咲く栗林を散策します。イベントも盛りだくさんです。

### ●小布施見にマラソン

7月16日6時スタート(小布施駅前～小布施総合公園)小布施を見て、楽しみながら21.0975kmを走ります。走者のコスチュームにもご注目!

### ●くりんご祭り7月29日(商工会前)

15時・子ども神輿、17時・「くりんご音頭」に合わせて賑やかに踊ります。

かに踊ります。

### ●お花市8月12日15時～(桜塚観音堂前)

毎月12日に聖観世音菩薩像を参拝でき、8月は大祭行事とお盆花市が盛大に行われます。

### ●小布施音楽祭

8月20日18:30～(鳳凰アリーナ)信州大学オーケストラ、1000円(小学生以下無料)

8月26日18:30～(北斎ホール)バロック音楽(出演者未定)

## 小布施ココロあそび vol.4 2017年6月発行

桜井甘精堂  
本社企画室

〒381-0298 長野県上高井郡小布施町2460-1 (日・祝休み)  
Tel 026-247-2132 Fax 026-247-5142 mail: planning@kanseido.co.jp